

# 第5号

## 教育委員会

### たより



文責  
伊平屋村  
教育委員会  
松田 哲市

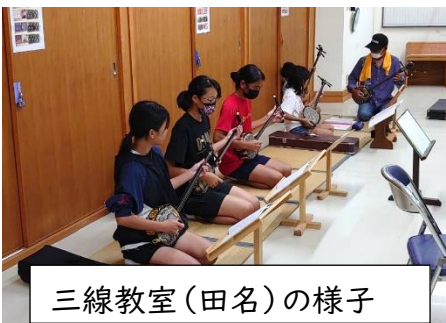


地域の人人々に優れた伝統文化を学ぶ  
生まれ育った故郷に誇りを持つ機会に

## 今年度初めての「伝統文化学習の日」を開催



書道教室(我喜屋)の様子



三線教室(田名)の様子



青年エイサー教室(離島振興総合センター)の様子

令和三年六月二十四日(木)に今年度初めての「伝統文化の日」が開催された。新型コロナウイルスの影響などで延期が続いたが、今回は感染予防を徹底し、実施した。離島振興総合センターをはじめ、各区の公民館では講師らの指導のもと、真剣な表情で取り組む子ども達の姿が見られた。

十五歳でこの島を発つ子ども達にとって、生まれ育った伊平屋の先輩方から伝統文化を学ぶことは、故郷を誇りに想う貴重な体験になる。今後も続けていきたい取り組みである。

書道教室(我喜屋区)では、前里澄子さんと名嘉園子さんが、子ども達に書道の基本的な筆使いや書いた文字を朱書きで指導する場面が見られた。三線教室(田名)では、安里武雄さんと嘉納増秀さんの三線の基本動作の指導に子ども達が集中して、取り組む姿が見られた。

## 村内五区で、地域教育懇談会を開催

地域の子ども達をどうチームで支えるのか

令和三年七月五日(月)から七日(水)にかけて、各区にて「地域教育懇談会」が行われた。懇談会では小学校や中学校、教育委員会の取り組みや課題などが報告された。また村学力向上推進委員会(家庭地域部会)からは、「食育活動の推進」の「弁当の日」の取り組みの奨励や、「生活習慣改善に向けた啓発活動」の「情報モラル講演会」の実施、家庭や地域での「情報モラル教育の強化」などについての話があった。その後の意見交流では、様々な意見や要望が出された。

課題としては各区の保護者の参加が少ないことである。懇談会の周知方法を工夫し、多くの保護者や地域の方々に集まって頂き、有意義な情報交換や必要な課題点について話し合い、問題解決していく必要がある。

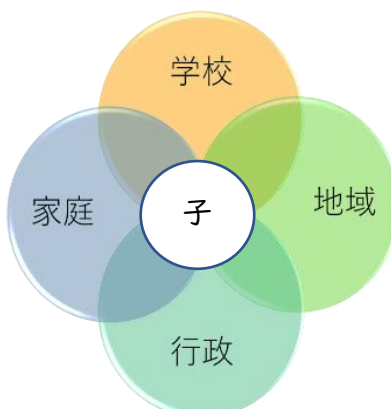
今後とも伊平屋の子ども達を【学校】【家庭】【地域】【行政】がチームとなって、支える関係を再確認し、取り組んでいきたいと思います。

### 【各区の懇談会で、特に多かった意見など】

- ・子ども達が公民館に集まり、Wi-Fiを利用して、スマホゲームを長時間していることが多いので、改善が必要。
- ・子ども達のスマホの利用の仕方について、家庭でもしっかり話し合ってほしい。※ルール決めなど
- ・保護者と先生方の交流の場を各区などでつくって欲しい。
- ・「てるしの塾」終了後、自転車での帰宅が遅い生徒がいるので、送迎は保護者同士で相談して、車で行く方が良い。
- ・各区での避難訓練(津波)の実施について  
子ども達が家庭や地域で過ごしている時の避難場所の確認が必要である。



野甫区の様子



【子ども支援のイメージ図】

